

世界史B 2 遼・金と南宋

1.北方諸民族の自立

9世紀後半 モンゴル・トルコ系諸民族→一部は中国()1方面へ移住

モンゴル高原→ウイグルの支配が弱まる→遼河の上流にいたモンゴル系契丹族が勢力を強める

916年 耶律阿保機=太祖(位916~926)大()2国(のちの遼)を形成 都 上京臨潢府

926年 ()3を滅ぼす 五代王朝に介入

936年 太宗(位926~947)後晋を圧迫して()4十六州=万里の長城以南の華北の山西・河北16州=を割譲させる。

947年 国号を()5(~1125)と定める。

()6官---モンゴル式の遊牧民統治=部族制

()7官---中国式の定住民統治=州県制 ⇒二元的統治体制

文字---()8文字作成←漢字、ウイグル文字を参考に

六代聖宗(982~1031)の時、宋と「()9の盟(1004)」を結ぶ。

→不戦・国境の維持・宋が遼に銀・絹を送る。

1125年 宋と結んだ女真族の()10により滅亡。

⇒一族の耶律大石は中央アジアで()11(カラ=キタイ)(1132~1211)建国 首都ベラサグン

中国西北部 黄河上流域 チベット系タングート族の自立

1038年 ()12=大夏(1038~1227)建国。李元昊=景宗(位1038~48)

宋による冊封=臣従する代わりに莫大な銀・絹・茶を得る 独自の西夏文字

2.金(1115~1234) 北方民族の一つツングース系()13族

1115年 完顔阿骨打(位1115~23)=太祖による統一・建国。中国東北地方。

首都 上京会寧=黒龍江省ハルビン のち1153年燕京=()14に遷都

1120年 遼に対抗して宋=8代徽宗(位1100~25)と「()15の盟」を結ぶ

1125年 遼を滅ぼす。燕京など6州を宋に割譲→残余の州をめぐり対立

1126年 ()16の変 開封を落とし、9代欽宗(位1125~27)たちを東北奥地へ連れ去る。

二重政治体制---女真族→()17=10謀克・謀克=300戸の制→部族制

漢民族→州県制 女真文字←漢字と契丹文字

1234年 モンゴルと南宋の攻撃により滅亡

→のち、17世紀には「()18」と名を変え、後金=()19を建国。

3.南宋(1127~1279) 臨安(杭州)

1127 高宗(位1127~62)、宋を再興⇒南宋

金への対応をめぐり、主戦派(岳飛1103~41ら)と和平派(秦檜1090~1155ら)の対立。

1141 宰相の秦檜、冤罪により[]20を処刑。

1142 金と「()21の和議」⇒臣下として貢ぎ物=歳貢・歳幣。淮河を境界とする。

1276 ()22の攻撃で臨安陥落。1279 広東沖の崖山の戦いで元により南宋滅亡。

4.宋代の文化

南宋の経済発展---長江下流域デルタ→中国の穀倉地帯化「江浙(蘇湖)熟すれば[]23足る」

茶の栽培→喫茶・窯業⇒()24=陶磁器の代表的産地

都市---同業組合()25=商人、()26=手工業者。 草市---定期市

商業発展→交子・会子=()27の普及→のちに紙幣化

広州、泉州、臨安などに()28を置く⇒インド・東南アジアと交易

宋船、新羅船の往来。平氏政権による[]29貿易。

┌[]30層◆a[地主・官僚]や庶民が担い手。

└華北は異民族王朝、宋では漢民族風の文化・思想が発展。

◆a---科挙に合格した官僚層、知識人。政治・文化の担い手。大土地所有の支配層。

12世紀後半、新しい儒学が登場

宋学=朱子学→朝鮮、日本(江戸)にも強い影響。

[]31=朱熹(1130~1200)、宋学=始祖は北宋の周敦頤(1017~1073)=を大成。

・万物の生成の原理=「()32」を追及 「人欲を去って天理に尽くす」

・「()33集注」→「四書」[論語・大学・中庸・孟子]を重視。

・「理」と人間の本性=「()34」を同一視。→「()35説」

┌「大義()36論」と「正統論」によって君主独裁と()37思想を強調。

└君・臣、父・子の上下関係を重視⇒君主独裁の思想的根拠として「官学」化

陽明学の源流

()38=象山(1139~92)、陽明学(明代)の基礎を築く。

・「理」を人間の心の中に求める。→「()39説」→朱子学と対立。

歴史学 ・異民族の圧迫のなかで、王朝の「正統論」「大義名分論」が盛んとなる。

・()40 「資治通鑑」---中国の通史。編年体。

・朱子 「資治通鑑細目」

散文 ・欧陽脩(1007~72)、王安石(1021~1086)、蘇軾=東坡(1036~1101)

絵画 ・()41画(北宋画)---写實的、色彩重視。

・()42画(南宋画)---水墨画。士大夫と禅僧。

工芸 ・陶磁器=宋磁---()43と白磁→世界陶磁器史上の頂点

仏教 ・士大夫層の()44宗、庶民の()45宗が興隆。

・全真教---王重陽1113~70、儒・仏・道教を融合。

科学 →「三大発明」

・()46技術---唐代からの木版印刷の改良。12~3世紀に発展。

・()47 ---11世紀に製法が確立。主に点火や威嚇。

宋とのちの金、元で殺傷用に実用化。

→13世紀に[]48商人を介してヨーロッパへ。

14世紀に武器として利用開始、15世紀に[]49製造。

・()50 ---ジャンク船◆bが使用。B.C.3世紀戦国末、磁石の南北指向性を発見

⇒11世紀ころから航海に利用。のち「羅針盤」

◆b---蛇腹の帆を持つ木造船。竜骨がなく船体を多数の隔壁で区切り、耐波性と速度に優れた。



青磁(宋)



桃鳩図(徽宗)



朱子

・宋 ・金 ・遼 ・元 ・清 ・性 ・理 ・禅 ・作 ・行 ・渤海 ・西夏 ・西遼 ・女真 ・契丹(2)
・満州 ・山西 ・燕雲 ・澶淵 ・海上 ・靖康 ・紹興 ・中華 ・猛安 ・青磁 ・南面 ・北面 ・文人
・院体 ・手形 ・浄土 ・名分 ・四書 ・磁針 ・火薬 ・印刷 ・景德鎮 ・司馬光 ・陸九淵 ・市舶司
・性即理 ・心即理